

# 青年部 だより

8月2日～8月4日、視察研修事業を東京で行いました。事業の趣旨は、「気付き」の部分に着眼点をおき、誰かに教わり・学ぶスタイルではなく自分自身で学ぶ（発見）ことに重きを置き、ビジネスチャンスをお各々の商いに繋げるために、最先端の商いを模索しました。

今回は、テーマを3つに分けて実施しました。①探る：「江戸」の風情を残し情緒漂う下町仲見世商店街の魅力を探る！②知る：「気付き」からうまれる新たな可能性を知る③感じる：「日本の台所」流通の一大拠点まで発展した築地市場を感じる！

後日、報告会を実施する予定です。

### ◎行程

- 8月3日 浅草仲見世商店街通り  
見学・意見交流会
- 8月3日 高橋康志氏（株キール広告社）講演会
- 8月4日 築地施設見学

### 視察研修事業

### 日本最先端（東京）の商いとは？

～「探る!」・「知る!」・「感じる!」



浅草にて



浅草仲見世商店街振興組合との意見交流会

# 女性会 だより

午前中急に暗くなり突風と雨、それに猛暑 他府県では10人の死傷者が出て、舞鶴でも突風が吹いた時、バザー用のテントが吹き飛ばされそうになり、会議所の職員様達がテントを降ろしてくださり被害が出ずに済みましてを御礼申し上げます。心配しましたけど、午後からは風・雨も上がりほっとして思わずありがとうと言って合掌しました。

バザーの商品も沢山ご提供頂き、会長様はじめ女性会の皆様には猛暑の中熱中症の被害もなく、大変お世話になり感謝・感謝の心でいっぱいです。

バザーの人出が少なく不安になりましたが、まずまずの売上と聞き、又岩手・宮城内陸地震被災の義援金も短い時間の中、市民の皆様・会員の皆様のご協力を頂き無事終了することが出来有難うございました。

正直申し上げますと精神的と暑さに苦しみました

## ちゃったまつりチャリティーバザー

けど、今思うと苦しみが楽しい思い出となり、良い経験と勉強をさせて頂きました事を感謝いたします。

渉外委員長 芝原賀津子



チャリティーバザー風景

## 松尾寺開創千三百年のお知らせ

西暦第二十九番札所松尾寺（山主 松尾心空 師）では、本年、開山千三百年という節目を迎えられ、昭和6年以来77年目に当たる御開帳法要が平成20年10月1日より平成21年9月30日までの1年

間営まれます。併せて■宝・重文の仏画・仏像6点と、最近鎌倉時代作と鑑定された仁王像2体を収容する宝物殿が建立され拝観の準備が進められております。

松尾寺では、奉賛会を開設され、募金活動を進めておられるほか、記念行事実行委員会が設けられ、当所では、青年部が地域振興の取り組みとして参画しています。